



# 学校だより

7・8月号

令和4年6月30日

## 二つ橋小学校のみんなが 幸せになりますように

校長 青木 和裕

夏の到来を思わせるような太陽が照りつける毎日。水泳学習も始まり、プールで子どもたちの笑顔がはじけています。

さて、コロナ禍でここ2年間実施を見送っていた、PTA主催の「七夕飾り」が、3年ぶりにピアノホールを彩っています。1・2年生の昇降口のすぐそばに飾られているので、登校してすぐに気付いた子どもたちが、友達や先生の短冊を熱心に読みふけていました。子どもたちの素直な思い、切実な願いを、いくつか見てみましょう。



コロナの終息を願う子ども 「コロナがなくなって、～」

「たくさんりょうこうにいけますように」「たくさん友達とおしゃべりできますように」

「マスクをはずして生活できますように」「みんなのえがおがふえますように」

戦争に目を向け、その終息を願う子ども 「せんそうがなくなって、～」

「世界中の人たちが、平和で楽しくさせますように」

「世界の間人が苦しまずに、楽しく、平和に、あらそわずに、くらせるように」

将来の夢

「うちゅうひこうしに なれますように」「ドラマに出る人になりたいです」

「人気声優になりたい」「プロ野球選手になれますように」「かんごしになりたい」

「ぼくはけいさつかんになる」「しんかんせんとうんてんしになりたい」

「しょうらいゲーム屋さんとか花屋さんになりたいです」(二刀流だね。)

習い事より

「ダンスの発表会で、センターをとる！」

「すいみんぐで、きんめだるをとりたいです」(本多選手に続け。)

学校生活より

「愛川宿泊体験で、安全に楽しく、友達の仲を深めながら帰ってこられますように」

(願いがかないましたね。)

「日光修学旅行の日、晴れますように」(校長先生も、一緒に願います。)

「もっと6ねんせいとあそびたい」(日光から帰ってきたら、きっと)

「学校で、プールに入れますように」(今年は、ばんばん入れそうですね。)

短冊に込めた願いを天に送るべく、地域の神社のご協力でお焚き上げをしていただきます。この七夕飾りは7月7日まで飾ってあるので、学校にお立ち寄りの際には、ぜひご覧になってください。

みんなの願い事がかないますように。